

## 2.1.5.2 動物

### 1) 哺乳類

五木村及び相良村では、「人吉球磨五木五家荘地区自然公園候補地学術調査報告書(熊本県、昭和44年3月)」及び「五木村学術調査 自然編(五木村総合学術調査団、昭和62年1月)」によると、キクガシラコウモリ、ニホンザル、ニホンイノシシ、ニホンジカなど32種が記録されている。建設省の現地調査(「4.4 植物・動物・生態系」参照)では、川辺川ダムとその周辺で23種が確認されている。

また、「第2回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 熊本県(環境庁、昭和56年)」によると、図2.1.5.2-1に示すとおり、ニホンザル、ニホンジカ、イノシシなどが分布している。

なお、以下に示す①～⑤により五木村及び相良村における重要な種を選定したところ、表2.1.5.2-1に示すとおり、文献においては12種、建設省の現地調査においては8種が該当した。

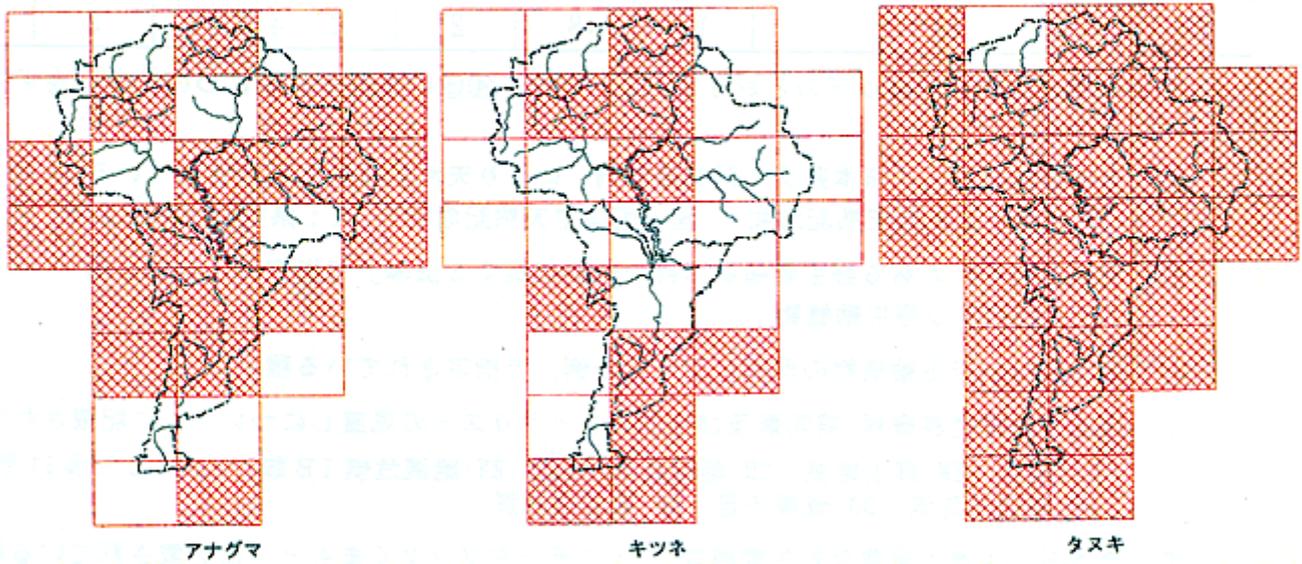
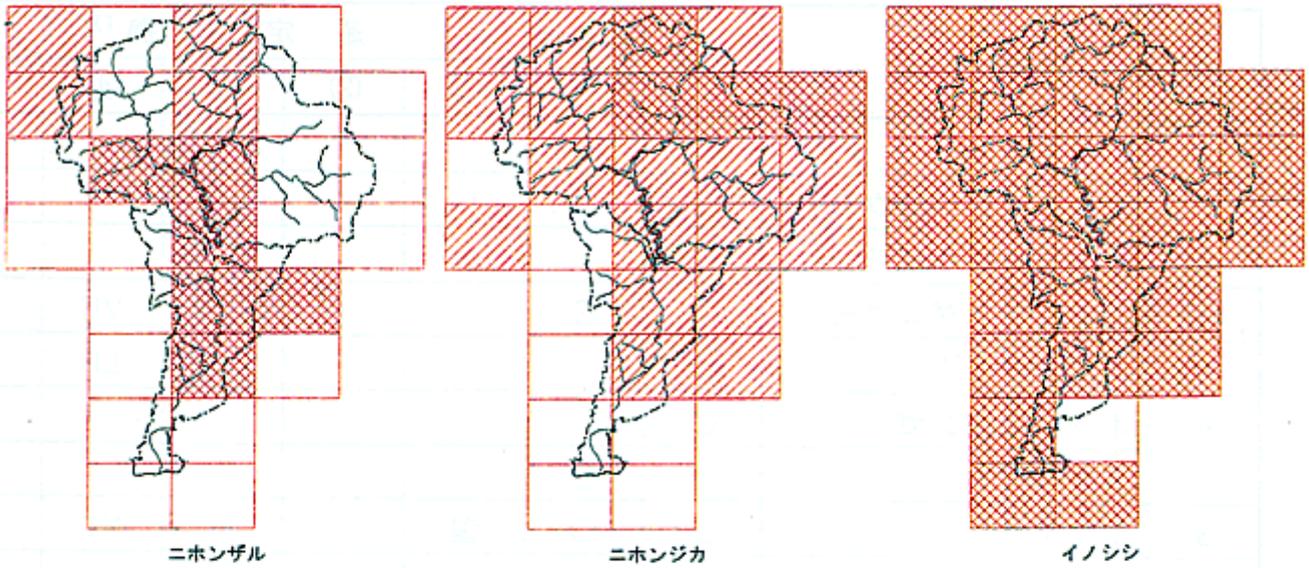
①「文化財保護法(昭和25年法律第214号)」、「熊本県文化財保護条例(昭和51年熊本県条例第48号)」により天然記念物に指定されている種

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(平成4年法律第75号)」で指定されている種

③「熊本県希少野生動植物の保護に関する条例(平成2年熊本県条例第61号)」で指定されている種

④「環境庁報道発表資料 哺乳類及び鳥類のレッドリストの見直しについて(環境庁、平成10年6月)」に記載されている種

⑤「熊本県の保護上重要な野生動植物 レッドデータブックくまもと(熊本県、平成10年3月)」に記載されている種



種名 凡例	ニホンザル	ニホンジカ	イノシシ・アナグマ キツネ・タヌキ
	群の生息する地域	1年中生息している地域	生息するという情報の得られた地域
	生息するが群とは判断できない地域	季節によっては生息している地域	-
	生息すると推定される地域		
	生息するという情報の得られなかった地域		
	絶滅した地域		

出典：「第2回自然環境保全基礎調査 動植物分布図 熊本県」(環境庁、昭和56年)

図 2.1.5.2-1 第2回自然環境保全基礎調査における哺乳類の分布

表 2.1.5.2-1 重要な哺乳類

No.	種名	文献	建設省 調査 <sup>2)</sup>	選定根拠 <sup>1)</sup>				
				①	②	③	④	⑤
1	カワネズミ	○	○					V
2	コキクガシラコウモリ	○	○					R
3	モモジロコウモリ	○						R
4	ニホンテングコウモリ	○	○				VU	R
5	ニホンリス <sup>3)</sup>	○					LP	
6	ホンドモモンガ	○						V
7	ムササビ	○	○					R
8	ヤマネ	○	○	国			NT	V
9	カヤネズミ	○	○					R
10	イタチ <sup>4)</sup>	○	○					R
11	アナグマ	○	○					R
12	カモシカ	○		特				V
計	12	12	8	2	0	0	3	11

1) 重要な種の選定根拠は以下のとおりである。なお、④⑤の定義の詳細については、巻末の資料編に示した。

①「文化財保護法」、「熊本県文化財保護条例」により天然記念物に指定されている種

特:国指定特別天然記念物 国:国指定天然記念物 県:県指定天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」で指定されている種

I:国内希少野生動植物

③「熊本県希少野生動植物の保護に関する条例」で指定されている種

④「環境庁報道発表資料 哺乳類及び鳥類のレッドリストの見直しについて」に記載されている種

EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧 IA類 EN:絶滅危惧 IB類 VU:絶滅危惧 II類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:地域個体群

⑤「熊本県の保護上重要な野生動植物 レッドデータブックくまもと」に記載されている種

Ex:絶滅 E:絶滅危惧 V:危急 R:希少 DD:情報不足

2) 建設省の現地調査:「4.4 植物・動物・生態系」参照

3) 「熊本県の保護上重要な野生動植物 レッドデータくまもと(熊本県、平成10年3月)」によれば、ニホンリスは熊本県に生息するという確実な情報は得られていない。

4) 本調査で確認されたイタチはチョウセンイタチである可能性が高いが、ニホンイタチである可能性も否定できないため、ここでは重要な哺乳類として扱うこととした。